

共催講座

放射線医学特論

放射線医学研究の最前線をまるごと学ぶ

“放医研プレミアム講座”

(独)放射線医学総合研究所
放射線防護研究センター

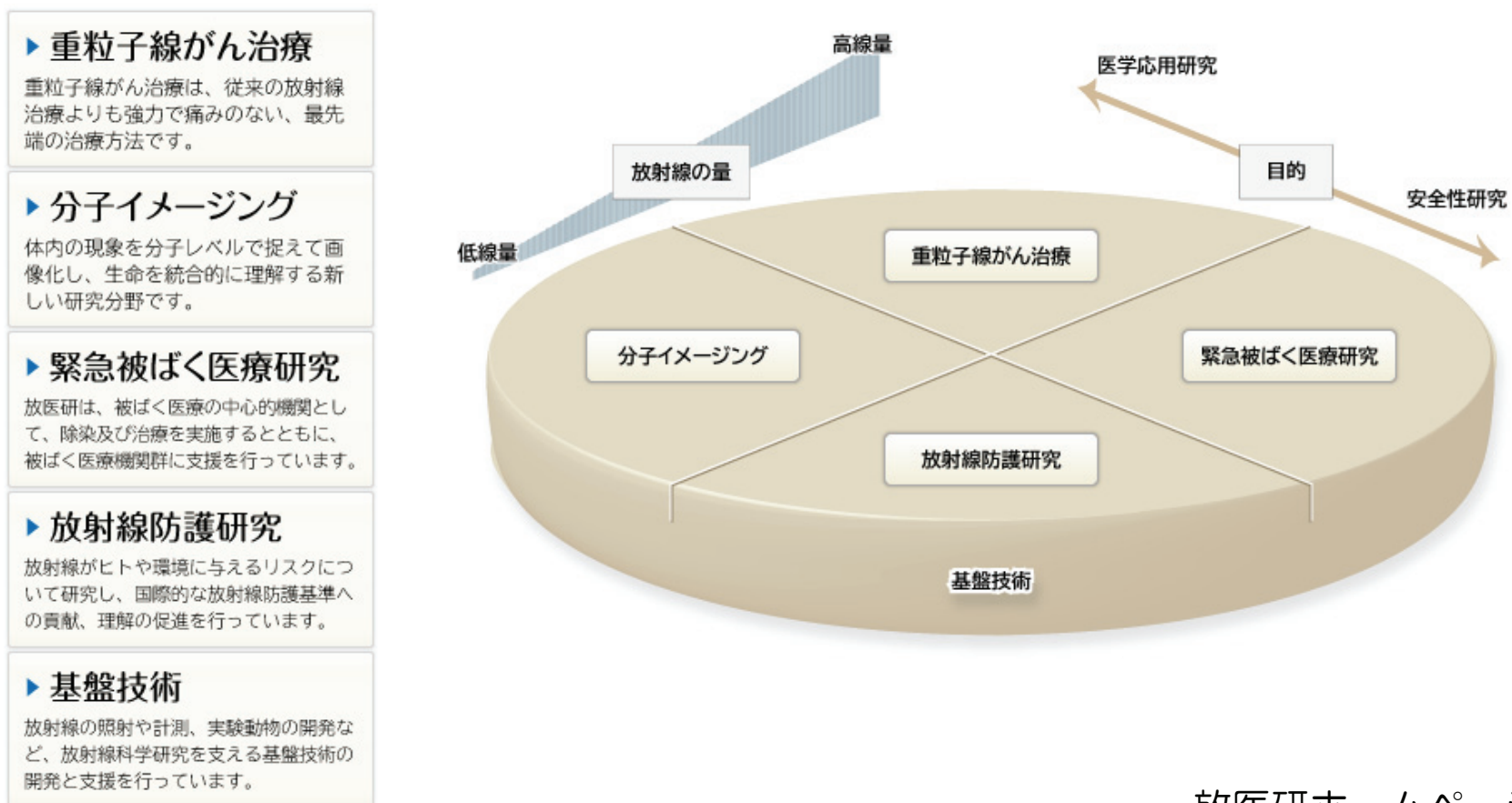
保田浩志

放射線医学総合研究所とは

放射線医学総合研究所(放医研)は、放射線と人との関係について総合的に研究開発を進める国内唯一の研究機関です。

「放射線の安全性と医学応用」、「高線量から低線量」という2つの軸に基づいた研究領域を持ち、

これらを統合的に研究することで人々の健康と安全で安心な社会の構築に貢献します。



教育活動の趣旨

独立行政法人放射線医学総合研究所は、千葉市稲毛区に在る文部科学省所管の公的研究機関であり、放射線と人の関係について総合的に研究開発を進めている。

その一環として、当研究所で行われている研究開発や安全管理に関する現状や計画の詳細を説明することにより、一般市民（特に立地する千葉県に在住する社会人）に放射線医学研究に関する理解を深めてもらうことを狙いとして共催講座を開設する。

2011年度の講座内容(予定)

研究現場で活躍中の講師15名が、最先端内容をわかりやすく説明

放射線に満ちた世界

身近にある放射線とその利用

放射線と生命

放射線があたるとどうなるの？

放射線による発がん

放射線はどのようにがんを引き起こすか

放射線で見通す脳のしくみ

脳老化と認知症の制圧に向けて

がんの分子イメージング

放射線でがんの性質を見る

次世代のPET装置の開発

放射線が役立つがん診断の未来

放射線治療の最先端

治りにくいがんを重粒子で治す

重粒子線治療の物理と技術

最適な粒子線治療を目指して

医療被ばく

患者が受ける便益とリスクのバランス

放射線被ばく医療

放射線事故にどう対応するか

放射線疫学研究

放射線被ばくと健康の関係

放射性廃棄物の管理

放射線を出すゴミをどうする？

環境の放射線防護

ヒト以外の生物の放射線影響

放射線の照射と計測

放射線科学を支える基盤技術

放射線医学研究の展望

これからの放医研と日本の発展

初開講に向けて

2011年度下半期（2011年10月～2012年2月）に、放射線医学に関わる基礎レベル講座1科目、全15回の講義を開くことを計画している。開催場所には、地域住民及び講師の利便性を鑑み、JR稲毛駅近くの会議室（最大収容人数45名）を借用し、時間帯は毎週水曜17時30分～19時30分とする予定。定員40名。

簡易マップ



広域マップ



その他

- 本共催講座は、放射線医学に関する一般市民（特に社会人）の再教育を目的に開講するものである。
- 講座名には、正式な科目名の「放射線医学特論」とは別に、親しみやすいキャッチフレーズとして、「放射線医学研究の最前線をまるごと学ぶ“放医研プレミアム講座”」という呼び名を設けた。
- その一方、講師を務める研究者のさらなる研鑽にも役立つと考えている。
- 熱意ある受講者を多く確保するべく、「知の市場」と連携して、宣伝等に努めていく。

初めての開講のため、要領を得ず試行錯誤することも多いと思いますが、誠実に対処してまいりたい。ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。